

モジュール型中級後期教科書の学生による評価（5）

宮内 俊慈

要旨

関西外国語大学留学生別科の中級後期のクラスにおいては、2008年度より高屋敷（2012）により開発されたモジュール型教科書を使ってきた。当教科書は、ドラマを対象としたUnit 7を除き全6ユニットから成り立っているが、2014年を皮切りに夏の学期の合間に毎年、Unit 1、Unit 6、Unit 4、Unit 5と継続的に改訂を行ってきた。そして毎回、当論集上で改定後の秋学期に実施した学生へのアンケート調査の結果を報告してきた。今回は、2018年の夏に大幅改訂を行ったUnit 1と用語の改訂のみを行ったUnit 2を試用した秋学期のアンケート調査の詳細結果を報告する。

【キーワード】 モジュール型教材、接触場面、ディスカッション

1. はじめに

関西外国語大学留学生別科においては、2008年秋学期（9月~12月）より中級後期の日本語クラス（日本語6: Japanese 6、以下、JPN6）のメインテキストを独自に開発し使用してきた。開発は、高屋敷（2012）が行い、モジュール型教材が採用された（高屋敷2013）。モジュールというのは、岡崎（1989）によれば、「教科書のよう

に特定の順序に沿って一つ一つの課を学習するタイプの教材とは違い、学習者が既に学習し終わっている項目から一定程度独立して使えるようにした教材」である。高屋敷（2012）はこのモジュール型教材を採用した理由として、中上級レベルでは学習項目の提出順序を積み上げ方式で行っていく必要性が低いことと常に変化する学習者のニーズに柔軟に対応できることの二つを挙げている。

2014年のUnit 1の改訂以来毎年、Unit 6、Unit 4、Unit 5と継続的にJPN6教科書の改訂とその後の学生へのアンケート調査を行っており、2018年の春学期の時点での各ユニットのタイトルは、以下のようになっていた。

Unit 1 「LINE、やってる？」

Unit 2 「交通機関のマナー」

Unit 3 「夫？主人？」

Unit 4 「和食ブームって本当？」

Unit 5 「関西は好きですか？」

Unit 6 「就活って何？」

2014年の夏に Unit 1 のダイアログの中心的トピックであった Mixi がもはや日本社会であまり使用されなくなってきたことを受けて、Unit 1 のトピックを Mixi から LINE に変更することにしてメインダイアログを改訂した。そして、その秋学期より新しい Unit 1 の試用を始め、Unit 4 まで終了した中間試験が終わった段階で学生間の教科書に対する評価をアンケート調査した。その詳細は、以前の論集で報告されている（宮内 2014）。

2015年には、Unit 6 の改訂を行った。この時の改訂の候補としては、Unit 4 「ユニクロ、MUJI は海外で成功するか？」と Unit 6 「外国人労働者、受け入れますか？」の2つが挙がったが、最終的には Unit 6 が改訂されることになった。決定された経緯などの詳細についても、以前の論集（高屋敷・宮内 2015、宮内 2015）で報告されている。

2016年には、その前の改訂の候補として挙がったもう一方の Unit 4 に着手することにした。Unit 4 が改訂対象となった理由は、2014年の調査でも学生間のトピックに対する興味が一番低く、さらに 2015年の調査でも同様の結果が出てきたためである。調査結果の詳細についても、以前の論集（宮内 2016）で報告されている。

2017年には、Unit 5 が改訂の候補となった。Unit 5 のタイトルは「インターネットは人類を幸せにしたか？」で、インターネットによって世界は便利になったが果たしてその変化は人類に幸福をもたらしたのか、ということがテーマとなっていた。しかし、このユニットは、前回の調査で学生の間での人気が低かったこと、また、内容として Unit 1 の LINE をテーマにしたトピックと重なっているという指摘が学生からなされていたことが改訂理由として挙げられる。詳細については、前回（27号）の論集（宮内 2017）で報告されている。

今回の改訂では、再度 Unit 1 が対象となった。このユニットは 2014 年に改訂されたばかりであったが、その後の 2014 年から 2016 年までの調査においては人気のあるトピックであったにもかかわらず、前回 2017 年の調査においてその人気度が大幅に下がったことがその改訂対象となった理由である。人気凋落の原因として前回の論集では、「人気の凋落の理由として考えたことは 2 つあり、一つは、今回の調査においてデータ数が 15 名と少なかったこと。もう一つは、SNS（ソーシャル・ネットワークサービス）の特性である。」（宮内 2017）とした。そして、2 つ目の理由の分析として、「確かに LINE は留学生にとっては日本に来て初めて体験するアプリで、最初は日本人とのやりとりで戸惑うこともあるかもしれないが、同様のアプリは WhatsApp や KakaoTalk、Messenger、Snapchat など日本以外の国で使われているものもたくさんあり、インターネット世代の今の大学生にとっては、特別に目新しいものとは言えず、あえて日本語で議論する対象として見られなくなってきているのかもしれない」（宮内 2017）ということを挙げた。つまり、SNS 関連の技術の変化は急速に進んでおり、それを話題にしたテキストというものはすぐに陳腐化してしまうということである。

今回の改訂においては、LINE という限定的なアプリを対象とするのではなく、SNS 全般を話題としたダイアログに変更することにした。改訂作業はこれまでの改訂の時と同様に、本文ダイアログの作成、単語リストの作成は高屋敷が担当し、それ以降のテキストとしての編集作業は筆者が担当した。改訂の内容もこれまでの改訂の時と同じように、ユニットの中で取り上げた文型はそのままにし、既存の単語リストもできる限り変更を加えずに行った。そのため、文型の説明パートや文型練習のパートは大幅な変更をすることなく改訂することができた。

2. 改訂内容

今回改訂された主なものは、Unit 1 のメインダイアログである。ここでは、その改訂前のもの（図 1 および図 2）と改定後のもの（図 3 および図 4）を転載する。

2.1 改訂前のダイアログ

タイトルは「LINE、やってる？」で、ダイアログは会話 1、会話 2、会話 3、会話 4 の 4 部から成り立っている。会話 1 では、留学生のジョンと日本人学生のまり

が大学のラウンジで話しているという状況で、ジョンが新しく買ったスマートフォンにどんなアプリをインストールしようかと考えている中で、まりが LINE をインストールすることを勧めている場面となっている。会話 2 では、まりが LINE の登録の仕方をジョンに説明しているシーンとなっている。そして、会話 3 では、まりが LINE のメリットとデメリットについて話しているシーンである。会話 4 ではそれから数日後という設定で、まりとジョンが再度会って、まりが LINE に関する問題点についてさらに言及しているという内容である。

2.2 改訂後のダイアログ

前節で述べた通り、前回の調査 (宮内 2017) において、Unit 1 のトピックに対する人気凋落している傾向がみられたわけであるが、学生の間で SNS に対する関心が全くなくなったわけではないと判断し、LINE という特定のアプリをトピックとするのではなく、学生がどんなアプリを使っているのかという観点からのトピックに変更することにした。その結果としてできたものが「どんな SNS、使ってるの?」というタイトルのメインダイアログである (図 3、図 4)。

変更後のダイアログにおいても、変更前のダイアログと同様の構成で 4 部から成り立っている。また、登場人物も同じく、留学生のジョンと日本人学生のまりの 2 人である。会話 1 では、変更前と同じくジョンが新しくスマートフォンを買ってアプリをインストールしようとしている場面だが、今回はまりがジョンにどんな SNS を使っているのかを聞くという設定に変わっている。そして、ジョンがまりに Snapchat のインストールを勧めるという設定に変更されている。会話 2 では、LINE を新しいスマートフォンに入れ直しているジョンにまりがアドバイスをするという設定になっており、会話の内容としては変更前と大きく変化はしていない。会話 3 も 2 人で LINE についてのメリット・デメリットを話している場面で、内容的には変更前を大きくは変化していない。会話 4 は、変更前と同様にそれから数日後という設定になっているが、ここでは LINE に限定せず様々なアプリにおける日本やジョンの母国であるアメリカでの SNS の問題点に関して 2 人が話し合っているという風に変更されている。

Unit 1 LINE、やってる？

会話1 【大学のラウンジで】

- まり： ジョン、何してるの？ 携帯？
ジョン： あ、まりちゃん。ううん、ほら、これ、スマートフォン！
まり： わあ、ジョンもスマホに替えたの？
ジョン： うん、昨日買って来たんだ。今、どんなアプリをインストールすればいいかなと思って…。
まり： そっか…。アプリといえば、ジョンは、LINE、やってる？
ジョン： LINE？ ああ、みんなやってるよね。僕もやったほうがいいと思う？
まり： うん、そうしなよ。世界で利用者が5億人を超えたって、ニュースで聞いたよ。日本でも5千万人以上が利用してるんだって。それに、LINEで普通の電話や携帯にも安く電話ができるようになったんだよ。
ジョン： へえ、じゃあ、僕もインストールしてみようかな？
まり： うん、ただでインストールできるし、メッセージも通話も無料でできるし、グループチャットもできるしね。
ジョン： グループチャット？
まり： うん、一度にたくさんの友達にメッセージが送れるから、飲み会やサークルの連絡をする時にすごく便利なの。私の友達も、みんな、やってるよ。ジョンもLINEやらないと、仲間はずれになりかねないよ。
ジョン： え、まじで？ すぐインストールできる？
まり： うん、もちろん。早くアプリの購入サイトに行って、LINEって検索してみて？ あった？
ジョン： どれどれ、あ、うん、あったよ。じゃあ、早速、インストールして登録してみようかな…。
まり： うん、手伝ってあげるよ。私が教えたとおりに、やってみて。
ジョン： うん、ありがとう！

会話2 【LINEの登録画面を見ている二人】

- ジョン： LINEの友達は、どうやって登録するの？
まり： あ、スマホの電話帳に載ってる友達でLINEをやっている子なら自動的にLINEの友だちリストに入ってくるよ。
ジョン： え？ まじで？ あんまり仲がよくない奴とかあまり知らない人とか親戚とかも全員？
まり： うん、そう。
ジョン： それは、ちょっと嫌だな…。
まり： じゃあ、今、「アドレス帳を送信しない」を選択して、設定の「友だち自動追加」もオフにしておいたほうがいいよ。
ジョン： そっか。じゃあ、そうしておくね。でも、これから友達を追加したい時はどうすればいいの？
まり： ジョンが友達になりたい人だけ招待すればいいんじゃない？ それにIDを設定してそのIDを友達に教えてもいいのよ。「その他」の「プロフィール」を見てみて？ IDがまだ未設定になってるでしょ？
ジョン： あ、ほんとだ。IDは何でもいいの？
まり： うん。でも、一度設定したら変更できないから、気をつけてね。
ジョン： うん。あ、できたできた。この「QRコード」とか「ふるふる」って何？
まり： QRコードは、QRコードリーダーで相手のコードを読み取ることで友達になれるのよ。「ふるふる」は友だちになりたい人のスマホと自分のを近づけて、振ればいいの。私と「ふるふる」、やってみる？ じゃあ、振って振って。
ジョン： うん。わ、出て来た！ これがまりの名前かな？
まり： うん、そう。ね、簡単でしょ？

図1 改定前のダイアログ(1)

会話3 【LINEの画面を見ている二人】

まり：今、ジョンにメッセージ、送ったよ。届いた？
ジョン：うん、届いたよ。わ、これ、何？ かわいいね。
まり：あ、それ、スタンプだよ。
ジョン：これもただ？
まり：ただのものもあるけど、有料スタンプなら、色々なアニメとかキャラクターのスタンプがたくさんあるよ。ジョンはiPhone？
ジョン：うん、そうだよ。
まり：じゃあ、iTunes Store で買えるよ。
ジョン：オッケー。あれ、僕が送ったメッセージの横に何か小さく書いてある…。これ、何て書いてあるの？
まり：あ、それ？ 「きどく（既読）」って書いてあるんだよ。相手が自分のメッセージを読んだら、つくのよ。だから、相手が自分のメッセージを読んだかどうか一目でわかるの。
ジョン：へえ、そうなんだ。便利だね。
まり：でしょ？ でも、デメリットもあるの。
ジョン：デメリット？
まり：うん。「既読」の機能はすごく便利なんだけど、「既読」って表示されているのに、メッセージの返信がすぐに来ないとイライラしてしまうことがあるのよ。
ジョン：え？ そうなんだ。僕はそんなに気にしないけどなあ。
まり：う～ん、みんなジョンみたいにのんびりしてればいいんだけどね…。イライラするだけじゃなくて、「既読って出てるのにどうして返事くれないの？」、「無視？？」「私、悪いこと言ったかな？？」といったことを心配しすぎて、「LINE疲れ」になっちゃう人も多いみたい…。
ジョン：へえー。そうか。つまりLINEは、長所もたくさんあるけど、逆に欠点も多いっていうわけだね。

会話4 【数日後キャンパスで】

まり：あ、ジョン！ どう？ あれから、LINE、使ってる？
ジョン：うん、おかげで楽しんでるよ。まりちゃん達のグループチャットにも参加できたから、新しい友達もできたり、色んな飲み会やイベントにも誘ってもらえるしね。通話もただでできるし、ビデオ通話もできるから Skype に接続しなくてもいいし…！
まり：そう。でも、問題点がないわけじゃないから、気をつけてね。
ジョン：へえ、どんな問題？
まり：うん、例えば、うちのお姉ちゃん、友達を限定しないで、スマホの電話帳からLINEをインストールしているユーザーを自動的に友だちにする設定にしちゃったの。そうしたら、お姉ちゃんの携帯電話番号を前に使っていたユーザーの友達まで友だちリストに入っちゃったんだって。それから、知らない人から個人的なメッセージが来て、困っているみたい…。
ジョン：へえ。
まり：それに、LINEのIDを不特定多数の人が見るブログの掲示板やtwitterに書き込むと、友人になりすぎてメッセージが送られてきたりすることもあるんだって…。
ジョン：そっか、こわいね。じゃあ、IDは気軽に人に教えないほうがいいなあ。
まり：うん。それに、真希ちゃんの妹、今、高校2年生なんだけど、グループチャットで仲間はずれにされて、いじめのターゲットにされちゃったそうよ。あ、それから、この間、健が言ってたんだけど、健君はLINEのゲーム中毒になっちゃったんだって。
ジョン：ゲーム中毒？
まり：そう。ゲームのレベルが上がるたびに、必要な武器やコインを買うために課金するシステムになっていて、沢山お金を払っちゃったんだって…。それに、ゲームがやめられなくて、睡眠障害になっちゃったんだって。
ジョン：そっか…。僕らも気をつけなくちゃね。

図2 改定前のダイアログ(2)

Unit 1 どんな SNS、使ってるの？

会話1 【大学のラウンジで】

- まり : ジョン、何してるの？ スマホ？
- ジョン : あ、まりちゃん。うん、新しいスマホを買ったから、今、色々、設定してたんだ。
- まり : わあ、新しいスマホに替えたの？
- ジョン : うん、昨日買って来たんだ。今、アプリのインストールをやり直しているところ。
- まり : そっか…。アプリといえ、ジョンは、どんな SNS、使ってるの？
- ジョン : SNS？
- まり : え？ アメリカでは、SNS って言わないの？ ソーシャル・ネットワーキング・サービスのことよ。
- ジョン : ああ、そういうことか。ええっと、Facebook、Twitter、Instagram、それから、Google+、それに、WhatsApp、Snapchat もやってるよ。
- まり : LINE は？
- ジョン : あ、LINE もやってるよ。でも、日本に来てから、始めたんだ。
- まり : そっか。日本では、LINE を使ってる人がすごく多いもんね。メッセージも通話も無料でできるし、グループチャットもできるしね。
- ジョン : そうだね。グループチャットは、一度にたくさんの友達にメッセージが送れるから、飲み会やサークルの連絡をする時にすごく便利だよ。日本では、LINE やらないと、仲間はづれになりかねないよ。
- まり : うん、確かに。
- ジョン : じゃあ、まりは WhatsApp とか Snapchat とか、使ってる？ アメリカでは、結構、人気あるよ。
- まり : ううん。今は、Instagram で、「インスタ映え」する写真をアップするのに忙しいから、他のアプリはあんまりやってないよ。でも、ジョンが Snapchat、やってるんだしたら、私もやってみようかな？
- ジョン : うん、Snapchat で、面白い動画とか送るから、やってみて。早くアプリの購入サイトに行って、検索してみて？ あった？
- まり : どれどれ、あ、うん、あったよ。じゃあ、早速、インストールして登録してみようかな…。
- ジョン : うん、手伝ってあげよ。僕が教えたとお、やってみて。
- まり : うん、ありがとう！

会話2 【LINE の登録画面を見ている二人】

- ジョン : ね、今、新しいスマホに LINE のアプリ、入れ直してるんだけど、友達は、どうやって登録するの？
- まり : あ、スマホの電話帳に載ってる友達で LINE をやっている子なら自動的に LINE の友だちリストに入ってくるよ。
- ジョン : え？ まじで？ あんまり仲がよくないやつとかあまり知らない人とか親戚とかも全員？
- まり : うん、そう。
- ジョン : それは、ちょっと嫌だな…。
- まり : じゃあ、今、「アドレス帳を送信しない」を選択して、設定の「友だち自動追加」もオフにしておいたほうがいいよ。
- ジョン : そっか。じゃあ、そうしておくね。でも、これから友達を追加したい時はどうすればいいの？
- まり : ジョンが友達になりたい人だけ招待すればいいんじゃない？ それに ID を設定してその ID を友達に教えてもいいのよ。「その他」の「プロフィール」を見てみて？ ID がまだ未設定になってるでしょ？
- ジョン : あ、ほんとだ。ID は何でもいいの？

図3 改定後のダイアログ (1)

まり : うん。でも、一度設定したら変更できないから、気をつけてね。
 ジョン : うん。あ、できたできた。この「QRコード」とか「ふるふる」って何？
 まり : QRコードは、QRコードリーダーで相手のコードを読み取ることによって友達になれるのよ。
 「ふるふる」は友だちになりたい人のスマホと自分のを近づけて、振ればいいの。
 私と「ふるふる」、やってみる？ じゃあ、振って振って。
 ジョン : うん。わ、出て来た！ これがまりの名前かな？
 まり : うん、そう。ね、簡単でしょ？

会話3 【LINEの画面を見ている二人】
 まり : 今、ジョンにメッセージ、送ったよ。届いた？
 ジョン : うん、届いたよ。わ、このスタンプ、かわいいね。これ、有料？ ただ？
 まり : あ、これ、無料だよ。この間、楽天のサービススタンプで、ゲットしたの。
 ジョン : へえ。LINEは、色々なスタンプがあって、楽しいよね。けど、俺、メッセージを送って、
 送った相手を読んだ時につく「既読」の機能って、あんまり好きじゃないなあ。
 まり : うん。メリットもあるけど、デメリットもあるよね。「既読」の機能はすごく便利だけど、
 「既読」って表示されているのに、メッセージの返信がすぐに来ないと、イライラしちゃう
 ことがあるしね…。
 ジョン : そっか〜。日本では、すぐに返信するのがエチケットなのかな？
 まり : うん、そうかも。「既読って出てるのにどうして返事くれないの？」、「無視されてる？」、「私、
 悪いこと言ったかな？」といったことを心配しすぎて、「LINE疲れ」になっちゃう人も多
 いみたい…。
 ジョン : へえー。そうか。つまりLINEは、長所もたくさんあるけど、欠点も多いっていうわけだ
 ね。

会話4 【数日後キャンパスで】
 まり : あ、ジョン！ こないだのSnapchatの動画、めっちゃ面白かったよ！
 ジョン : だろ？ あ、まりちゃん達のLINEのグループチャットに招待してくれてありがとう。おかげ
 で、新しい友達もできたし、色んな飲み会やイベントにも誘ってもらえるようになったよ。
 まり : そう、よかった。でも、問題点がないわけじゃないから、気をつけてね。
 ジョン : へえ、どんな問題？
 まり : うん、例えば、うちのお姉ちゃん、友達を限定しないで、スマホの電話帳からLINEをイン
 ストールしているユーザーを自動的に友だちにする設定にしちゃったの。そうしたら、ニッ
 クネームで登録している友だちが誰かもわからないし、知らない人から個人的なメッセージ
 も来て、困っているみたい…。
 ジョン : へえ。
 まり : それに、LINEのIDを不特定多数の人が見るブログの掲示板やtwitterに書き込むと、友人
 になりすましてメッセージが送られてきたりすることもあるんだって…。
 ジョン : そっか、こわいね。じゃあ、IDは気軽に人に教えないほうがいいなあ。
 アメリカでも、Facebookの個人情報に漏れたり、アカウントが乗っ取られたり、ソーシャ
 ルメディアについては、色んな問題があるよ。
 まり : そうなんだ。日本では、いじめ問題も多いよ。真希ちゃんの妹、今、高校2年生なんだけど、
 グループチャットで仲間はずれにされて、いじめのターゲットにされちゃったんだって。あ、
 それから、この間、健が言ってたんだけど、健君はオンラインゲームの中毒になっちゃっ
 たんだって。
 ジョン : ゲーム中毒？
 まり : そう。ゲームのレベルが上がるたびに、必要な武器やコインを買うために課金するシステム
 になっていて、たくさんお金を払っちゃったんだって…。それに、ゲームがやめられなくて、
 睡眠障害になっちゃったんだって。
 ジョン : そっか…。僕らも気をつけなくちゃね。

図4 改定後のダイアログ(2)

3. アンケート調査

3.1 調査対象

以前の調査と同様に、今回の改訂に伴いアンケートを実施し、学生の反応を確かめることにした。対象の学生は2018年秋学期（9月～12月）のJPN6の全学生である。アンケートは、対象となるユニットが全て終了し、アンケート対象外のUnit 7（Unit 7はテレビドラマを扱うユニットであるため）のユニットテストの際にテストと同時にアンケート用紙を配布し、テストとは別の回収箱をもうけ、匿名で提出できるように配慮した。この学期には、JPN6の学生は、全部で25名（男子学生6名、女子学生19名）が在籍しており、クラスを欠席した1名を除く24名の学生のデータを収集することができた。アンケートは無記名で実施し、出身国の記述も依頼しなかったため参加した学生の出身国のデータは不明である。

3.2 調査内容

調査は、これまでの調査と同じく、教科書全体に対する質問（3問）と各ユニットに対する評価（14問 x 6ユニット = 72問）があり、全87問であった。全体的な質問としては、「教科書(Packets)は全体的にいいと思う」かどうか、今後「取り上げて欲しいトピック」は何か、さらに、JPN6の教科書に対する「Free Comment」を尋ね、ユニット毎の項目としては、取り上げられている「トピックは面白いと思う」かどうか、ダイアログの内容、長さ、難しさ、語彙の多さ、難しさ、練習内容、表現説明の内容、聞き取り練習の内容など14項目に渡って詳細に尋ねた。実際のアンケートは、添付資料として挙げてある。

3.3 調査結果

3.3.1 教科書全体に対する質問

まず、教科書全体についての評価であるが、図5の結果となった。“strongly agree”と“somewhat agree”を合わせると、79%の学生、つまり、回答者24名中19名が「良い」という評価であった。また、「どちらでもない」と考えられる“neutral”の回答は3名(13%)、「あまりよくない」に該当する“somewhat disagree”が2名(8%)いたが、「良くない」(“strongly disagree”)と評価する学生はゼロであった。JPN6の教科書(Packets)が、これまで同様、多くの学生に好意を持って受け入れられているという

ことがわかる。

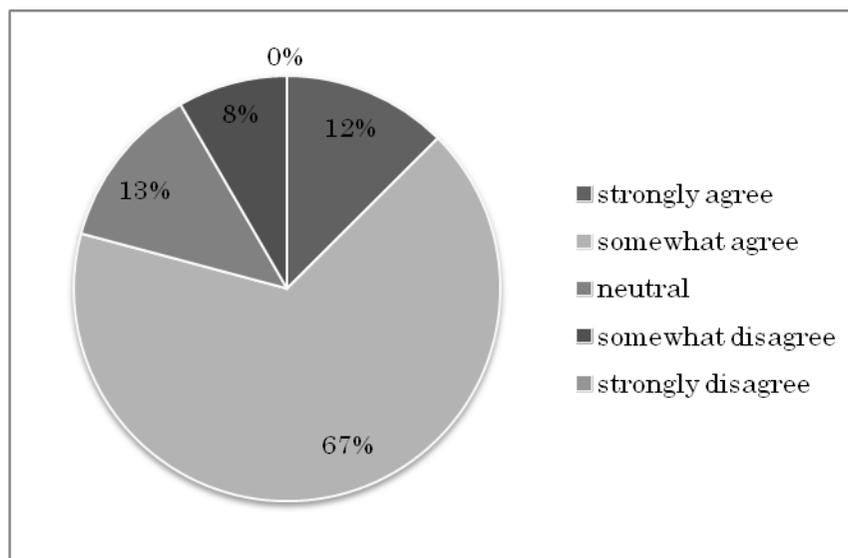


図5 「教科書は全体的にいいと思う」に対する賛否

3.3.2 ユニット毎の質問

3.3.2.1 トピックについて

ユニット毎の比較では、まず、それぞれのトピックの面白さについて尋ねた（図6参照）。このグラフでは、“strongly agree”と“somewhat agree”を合わせて“agree”とし、“strongly disagree”と“somewhat disagree”を合わせて“disagree”としている。

このグラフを見ると、全てのユニットにおいて“agree”が“disagree”を上回っており、全てのユニットに対して66.7%（24名中16名）以上の学生が「面白い」と評価していることが見てとれる。今回、ダイアログを大幅改訂したUnit 1について言えば、“agree”が70.8%（24名中17名）で、改訂前の昨年度の同じ調査の結果が33.3%であった（宮内2017）ことを考えれば、大きく評価を改善したと言えるだろう。その意味では、今回の改訂は成功裡に終わったと言って差し支えないであろう。また、時代にそぐわなくなった用語などの最小限の変更に留めたUnit 2は、“agree”が66.7%（24名中16名）と好感度が他のユニットと比べ極めて高いとは言えないものの、“disagree”はゼロで大幅な人気度の下降が見られることはなかった。このユニットに関しては、現状のまま、もうしばらく様子を見ていく方針でよいと思われる。

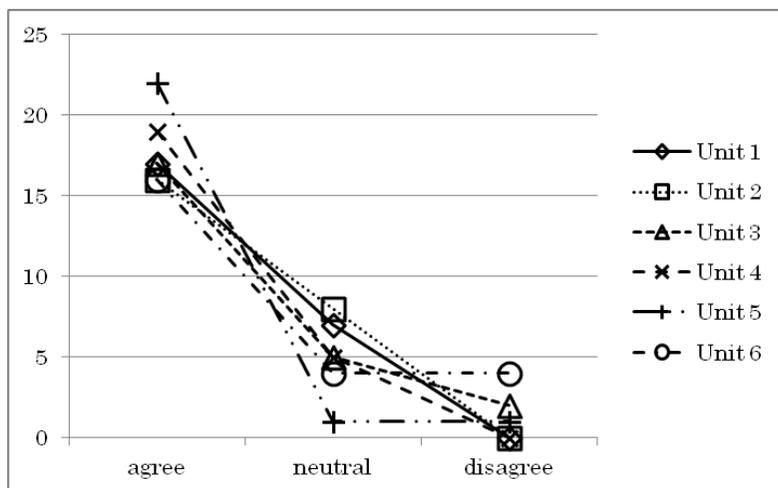


図6 「トピックは面白いと思う」に対する賛否のユニット毎の比較

今回の調査で最も人気があったのが、Unit 5である。このユニットのタイトルは「関西は好きですか？」で、関西弁や関東と関西の文化・習慣の違いを扱ったトピックとなっている。このユニットは前年度の2017年に改訂したユニットであり、前回の論集で報告した調査においても全6ユニットの中で一番の人気の高さとなっていた（回答者15名中14名が“agree”：93.3%）。そして、この時の調査で『今後取り上げて欲しいトピック』のコメントに対しても『もっと関西弁について』や“more more detailed Kansai-ben!”などの意見が見られ、学生が関西弁に対して強い関心を持っていること（宮内2017）が分かった。

一方、一番人気が低かったユニットは、Unit 6であったと言えるだろう。“agree”は66.7%（24名中16名）でUnit 2と変わらなかったが、“disagree”は16.7%（24名中4名）となっており、非好感度が最も高かった。このユニットのタイトルは、「就活って何？」で、日本人学生の就職活動の状況を扱っており、2015年度に改訂したユニットである。このユニットは、改訂直後の2015年の調査においても、“agree”が50.0%（24名中12名）で、“disagree”が25.0%（24名中6名）となっており（宮内2015）、関心のある学生と全く関心のない学生がはっきりと分かれるユニットであると言えるだろう。というのも、日本の大学と違って海外の多くの大学では在学中に就職活動を始める学生はまれであり、まだ自身の将来の仕事に対して明確なビジョンを持っていない学生が多くいるからである。

3.3.2.2 ダイアログの内容について

次に、ダイアログの内容についての評価を尋ねた (図7)。これは、先程の項目がトピックに対する関心度・好感度の違いを示しているのに対して、ダイアログの品質の良否に関する質問である。ここでも、どのユニットにおいても“agree”が“disagree”を大幅に上回っていることが見て取れる。ただ、この項目においては先程の項目に比較して“neutral”(「どちらとも言えない」)の割合がどのユニットにおいても高くなっていることが見られる。

さらにこの項目では、先程の関心度の項目では Unit 5 と Unit 6 の“agree”の数の違いが 22 名対 16 名と 6 ポイント差があったものが、15 名対 11 名の 4 ポイントとその差が少なくなっているのがわかる。トピックに対する関心とは異なり、学生たちは、提示されたダイアログに対する良し悪しはある程度冷静に判断していると言えるのかもしれない。

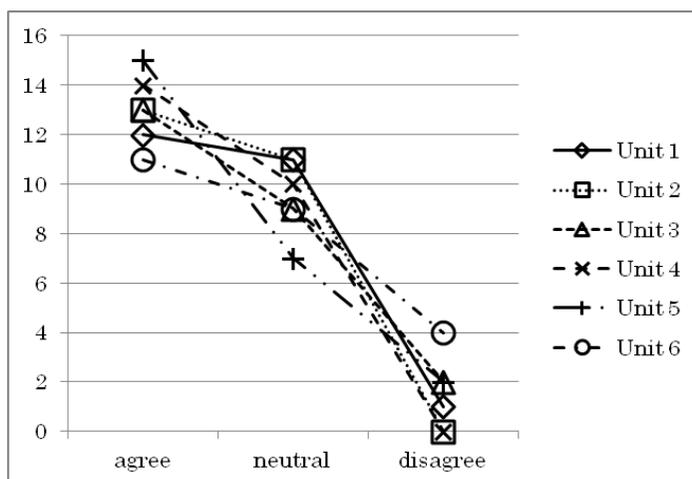


図7 「ダイアログの内容はいいと思う」に対する賛否のユニット毎の比較

また、ここでも先程の関心度の項目と同様に Unit 5 の評価が最も高く (agree が 15 名:62.5%で disagree が 2 名 : 8.3%)、Unit 6 の評価が最も低かった (agree が 11 名:45.8%で disagree が 4 名 : 16.7%)。Unit 6 に関しては、前の関心度・好感度の項目でも評価が低かったことを考えれば、次回の改訂の対象は Unit 6 であると言って

もよいかもしれない。

3.3.2.3 ダイアログの長さについて

次に、同じくダイアログについて、その長さについて尋ねた（質問(4)）。ユニット間の比較を表すグラフが図 8 である。長さに関しても、どのユニットにおいても“adequate”が“too long”、“too short”を抑え最も多くなっている。“adequate”の割合が最も低い Unit 6 でも 75%（24 名中 18 名）で「適当である」という評価を得ている。

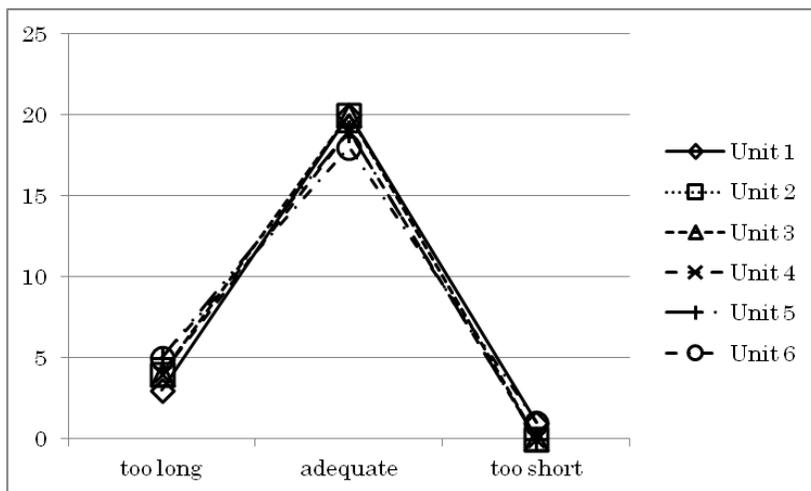


図 8 「ダイアログの長さ」に対する評価のユニット毎の比較

実際のユニット毎のダイアログの文字数を見てみると（表 1 参照）、Unit 5 の文字数は 2,056 と最も短く、Unit 6 が 3,683 と最も長いのであるが、“too long”という評価は Unit 5 も Unit 6 も同じ（どちらも 20.8% : 24 名中 5 名）であり、以前の調査（宮内 2017）でも見られるように「実際の長さと感じて感じる長さが必ずしも一致しない」ということが言えるようである。

表 1 ダイアログの文字数の比較

Unit	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	Unit 5	Unit 6
文字数	3,028	2,193	2,143	2,480	2,056	3,683

3.3.2.4 ダイアログの難しさについて

次に、ダイアログの難しさについて尋ねた（質問(5)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図9である。

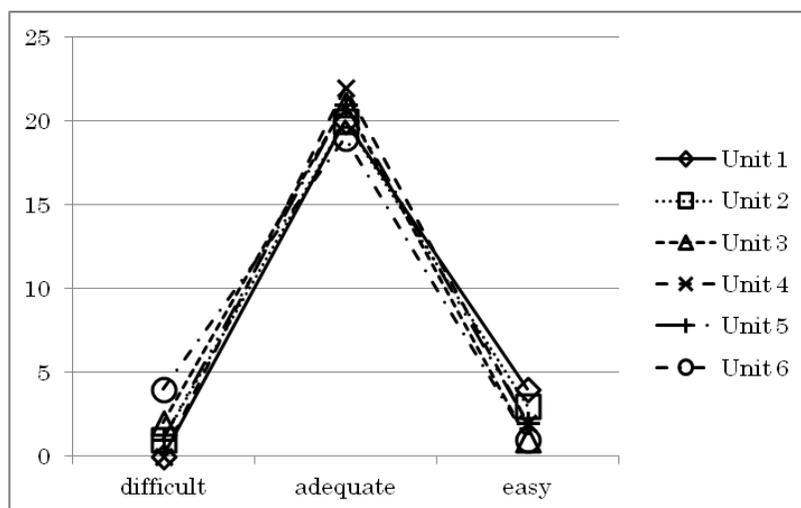


図9 「ダイアログの難しさ」に対する評価のユニット毎の比較

このグラフでは、先程の長さについての評価以上に“adequate”の回答が多くなっている。最も多いのが、Unit 4で91.7%（24名中22名）、最も低いUnit 6が79.2%で、難しさに関してはほぼ問題がないと言ってよいであろう。

以前の調査では、Unit 3「夫？主人？」において「特異な状況」（宮内 2017）が見られた。この時は“adequate”（15名中8名：53.3%）が他のユニットに比べて低く、“difficult”（15名中7名：46.7%）が一番高くなっていた。このユニットでは、「立場が上というわけでもないのに、自分の結婚相手のことを『主人』と呼ぶ」ことには違和感がある、といった内容を扱っている。ダイアログの中身としては、大学のゼミのクラスで、課題として読んできた上記内容の投書について留学生を含めたゼミのメンバー数人と先生がディスカッションをしているという設定である。その時の報告では、「学生の議論の様子を見ていると、“gender issue”（性差別）を扱うことの難しさを感じているように思われた。母国語でも話すことが難しい問題について学習言語である日本語で討論しなければいけない状況にストレスを感じ、そのことがこのユニットの難しさへの評価に繋がったように思われる。」（宮内 2017）と

分析したが、今回の調査ではそうした状況は見られなかった。

3.3.2.5 単語の数について

次に、単語の数について、その多さについて尋ねた（質問(6)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図 10 である。単語リスト上の実数は、表 2 に示した通りである。

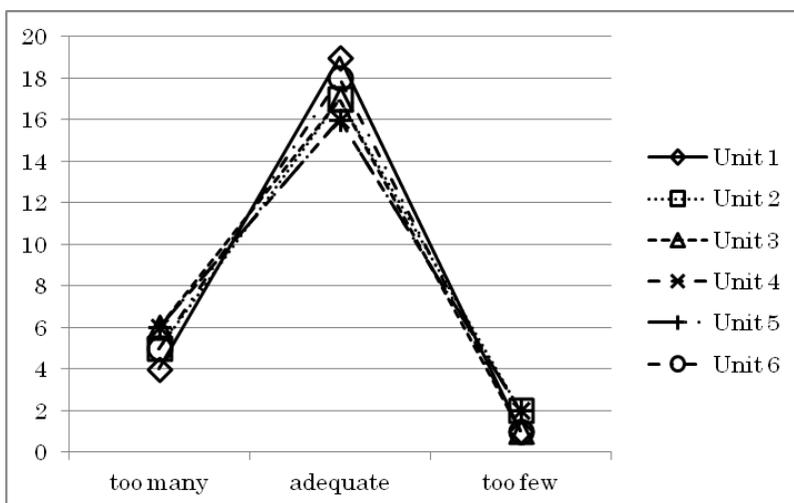


図 10 「単語の数」に対する評価のユニット毎の比較

表 2 単語リスト上の単語数（実数）の比較

Unit	Unit 1	Unit 2	Unit 3	Unit 4	Unit 5	Unit 6
単語数	72	69	48	69	63	54

この項目では、これまでの調査においては、「“too many”と“adequate”とする回答が拮抗している」（宮内 2016、宮内 2017）ユニットが多かったのだが、今回の調査においては、“adequate”の数がどのユニットにおいても“too many”を 10 名以上上回っていた。日本語は、和語、漢語、外来語が混在し、同じような意味の言葉が多く存在し、その上、場面によってそれらを使い分ける必要があることから学習者が覚えるべき語彙がどうしても多くなる。さらに、日本語のレベルが上がれば上がるほど、漢語が増えてくるのだが、それらは日常会話ではあまり使わないといったことが起こってくる。したがって、学習者の中には「友だちとの会話で使うことがないような単語を覚える必要があるのか」といったコメントをするものがある。実際、

今回の調査の「フリーコメント」欄にも、“I (also) don't like how there is a huge vocab section, but we never see it again other than the dialogue.”といったコメントがあった。そうした不満を少しでも解消するために、今回のダイアログの大幅な改訂とは別にユニット間で重複していた単語を整理したり、単語リスト上に「覚える必要のない単語」のマークをつけて特殊な単語をテスト対象から除外するといった調整をパケット配布の直前に行なったりした。そうしたマイナーな変更が今回の調査での“adequate”比の増加に少しは貢献したのかもしれない。

3.3.2.6 単語の難しさについて

次は、同じく単語について、その難しさに対する評価を聞いた（質問(7)）。ユニット毎の比較を表すグラフが図 11 である。

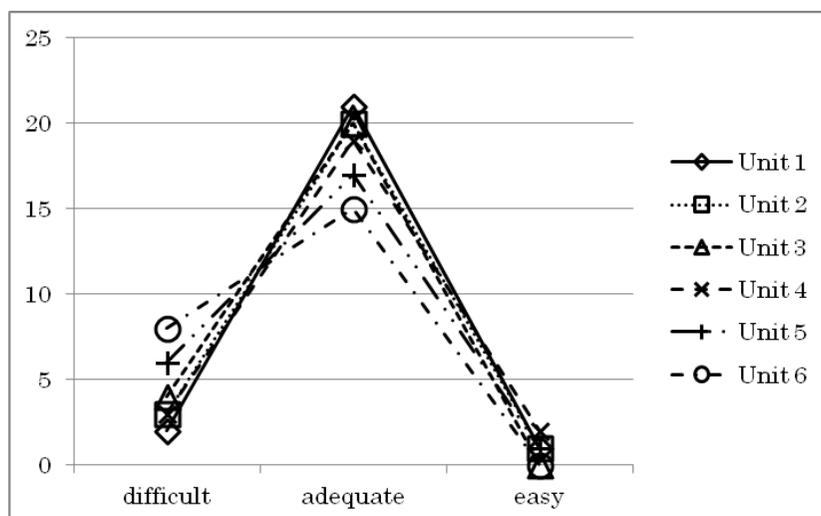


図 11 「単語の難しさ」に対する評価のユニット毎の比較

ここでも、これまでの調査と違い“adequate”の回答の多さが目立った。前回の調査では、「Unit 6 において“difficult”(8名)が“adequate”(7名)を上回った」(宮内 2017)が今回は、その差が他のユニットに比べれば最も小さいものの、“adequate”(15名)が“difficult”(8名)のおよそ 2 倍であった。このユニットは、「単語の実数から言えば 2 番目に少ないにもかかわらず、馴染みの単語が少ないということから難

易度が上がっているように思われる。『就活』関連ということもあり、留学生たちに普段の会話で使わない単語がどうしても多くなり、難しく感じてしまうということが背景にある」(宮内 2016) という分析を示したように、以前より“difficult”の評価が多かったため、前節で述べた『単語リスト上に「覚える必要のない単語」のマークをつけて特殊な単語をテスト対象から除外する』という対策を立てて、単語リスト上、62 単語から 54 単語に削減した。そういう工夫をしたことが、「多さ」だけでなく「難しさ」の評価の改善にもつながったのかもしれない。

3.3.2.7 単語の練習の量について

各ユニットには、表現練習のページだけではなく、単語練習のページもある。そこで練習量についても聞いている(質問(8))。ユニット毎の比較を表すグラフが図 12 である。ここでは、全ユニットにおいて“too little”の回答が最も多いという厳しい結果が示され。同様の結果は、これまでの調査結果(宮内 2015 他)でも見られており、今回も同様の結果となった。この結果は、教科書(パッケージ)のせいというより、以前の報告でも述べたように「授業計画としては、新しい表現の練習が中心になってしまうため、授業時間中に単語練習に充てる時間はどうしても少なくなってしまう」(宮内 2016) ことが原因であろう。単語を使う練習は、授業外での学生の自主練習に任せていることがこのような結果になったものと思われる。実際、語彙に対するコメントも“Studying alone is not enough.”というものも見られた。これらの評価に対して、以前にも述べたように「単語学習の良質な自習教材を導入して」(宮内 2017) 早急に改善を図りたい。

3.3.2.8 単語の練習の内容について

次に、その単語練習の内容について聞いたのが次の質問である(質問(9))。「単語練習の内容はいいと思う」という意見に“agree”か“disagree”かを尋ねた。ユニット毎の比較を表すグラフが図 13 である。この項目に関しては、これまでの調査同様、全てのユニットにおいて“agree”が“neutral”および“disagree”を上回っていて、練習内容そのものには満足していると言えよう。したがって、前節の「練習量

が少ない」という厳しい意見があるものの、「現状の単語練習の内容を活用した」(宮内 2017) 自習教材が開発できれば、学生の満足度も向上するものと思われる。

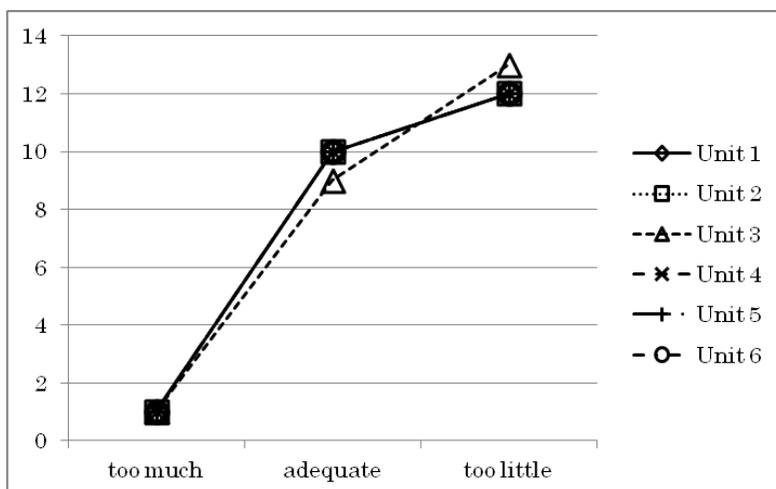


図 12 「単語練習の量」に対する評価のユニット毎の比較

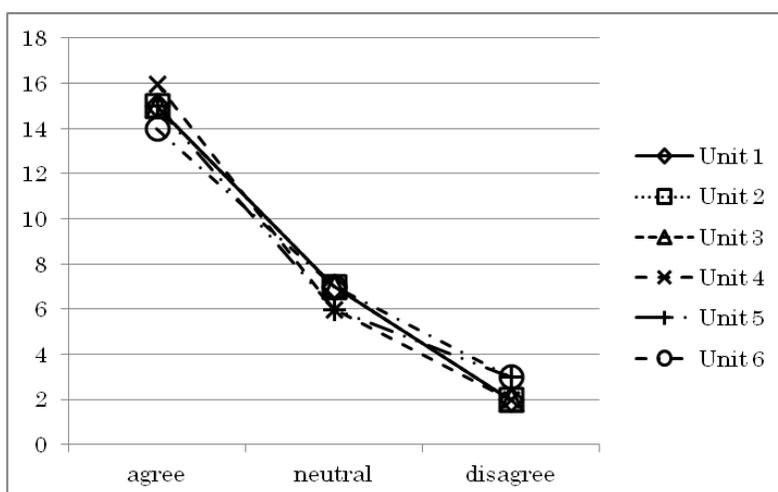


図 13 「単語練習の内容の良否」に対する賛否のユニット毎の比較

3.3.2.9 表現の説明について

表現説明の良し悪しに関する評価を聞いたのが次の質問である(質問(10))。ユニット毎の比較を表すグラフが図 14 である。

ここでは、「表現の説明は、満足できる」という意見に対して“agree”が最低でも Unit 6 の 66.7% (24 名中 16 名)、また、“disagree”が全てのユニットに対して 12.5% (24 名中 3 名) 以下とかなり良好な評価が得られた。

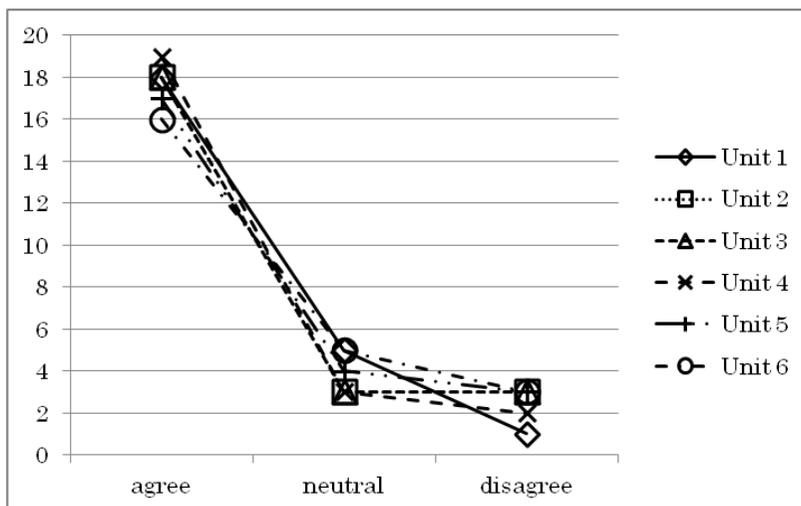


図 14 「表現の説明の良否」に対する賛否のユニット毎の比較

3.3.2.10 表現説明の例文の量について

表現説明に対しては、もちろん例文が挙げられているわけだが、動詞やその他の品詞の活用形の関係から、実際にその表現を使いたいときには例文が多いほど参考にしやすい。しかし一方で、例文が多すぎても教科書としては冗長になってしまう。そこで、表現説明における例文の量について聞いたのが次の質問である(質問(11))。ユニット毎の比較を表すグラフが図 15 である。

この質問に対しても、全ユニットにおいて 62.5% (24 名中 15 名) 以上の“adequate”の評価が得られた。ただ、Unit 4 と Unit 6 では 37.5% (24 名中 9 名) の“too little”の評価が見られた。もう少し、例文を増やすという改善が必要かもしれない。

3.3.2.11 表現練習の量について

次の質問は授業で最も時間を使っており、教科書(パッケージ)でも中心部分とも呼べる表現練習の量についての質問である(質問(12))。ユニット毎の比較を表すグ

ラフが図 16 である。

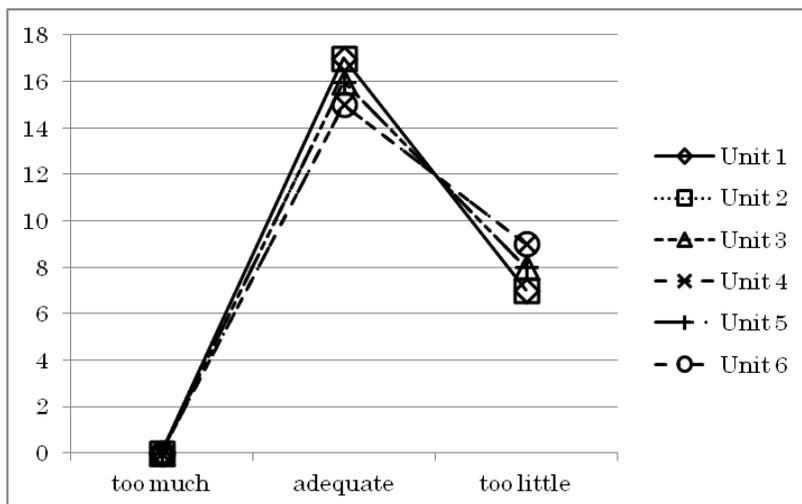


図 15 「表現説明の例文の量」に対する評価のユニット毎の比較

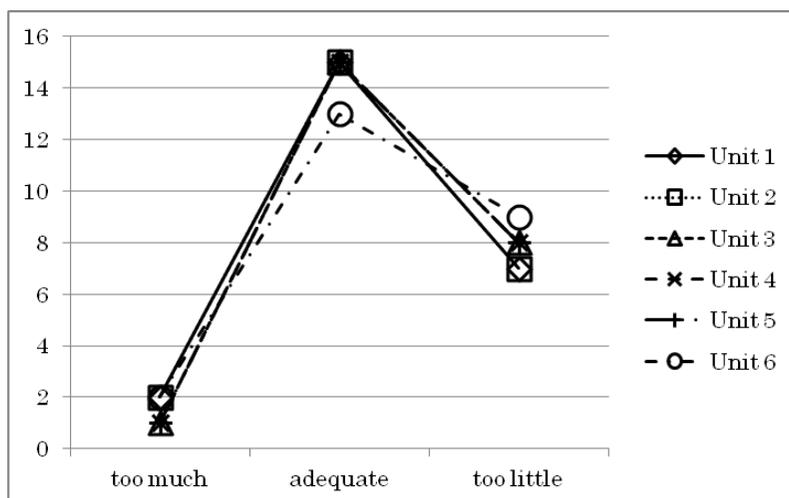


図 16 「表現練習の量」に対する評価のユニット毎の比較

この項目については、先の「例文の量」に対してよりも“adequate”の評価がどのユニットにおいても低かった。一番低い Unit 6 では、“adequate”が 54.2%（24 名中 13 名）しかなかった。以前の調査でも述べたが、Unit 5 と Unit 6 の「2つのユニッ

トでは、グラフや表を説明する表現が中心となっている」(宮内 2016)、そのため、それまでの会話の練習が中心となっている Unit 1 から Unit 4 までと教科書の体裁が決定的に変わっている。そのことがこの項目における Unit 6 への低評価につながっているものと思われる。

3.3.2.12 表現練習の内容について

その表現練習の内容について聞いたのが次の質問である(質問(13))。ユニット毎の比較を表すグラフが図 17 である。

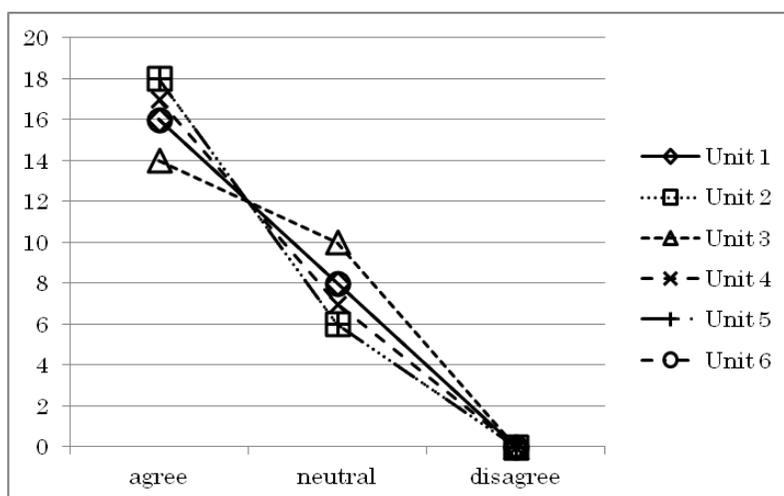


図 17 「表現練習の内容」に対する賛否のユニット毎の比較

「表現練習の内容がよいと思う」に“agree”の数は、Unit 4 を除く全てのユニットで 66.7% (24 名中 16 名) 以上の回答になった。また、“disagree”の回答は、全ユニットでゼロであった。Unit 4 については、Unit 1 から Unit 3 における練習内容に大きな違いはなく、なぜ Unit 4 だけが“agree”の数が少なくなっているのかは、不明である。今後、継続的に状況を見ていく必要があるだろう。

3.3.2.13 聞き取り練習の効果について

最後の 2 つは、聞き取り練習に関連した質問である。聞き取り練習は、ダイアロ

グを録音したものを学生に聞かせ、空欄を聞き取って埋めていくというディクテーションの練習をクラスで実施したり、宿題として課し学生の自主学習を促すためのパートである。アンケートでは、「練習の効果」（質問 14）、「会話の速さ」（質問 15）の 2 項目について尋ねた。「聞き取り練習の効果」に対する評価のユニット毎の比較を表すグラフが図 18 である。

どのユニットにおいても「聞き取り練習は効果があると思う」に対する“disagree”の割合は 16.7%（24 名中 4 名）以下だとはいうものの、“agree”と“neutral”の割合はほぼ同じで、決して高い満足度を示しているとは言えない。“agree”の割合が高くて 45.8%（24 名中 11 名）に過ぎない。これまでの報告でも述べたが、改善の必要性を示していると言えよう。ただ、同じくこれまでの報告でも述べているように、この問題は、「授業中に聞き取り練習の時間がなかなか取れず、学生の自習に任せる場合が多くなっていることが、その主な原因」（宮内 2017）であり、教科書そのものの問題ではなく、授業計画の問題に帰することである。

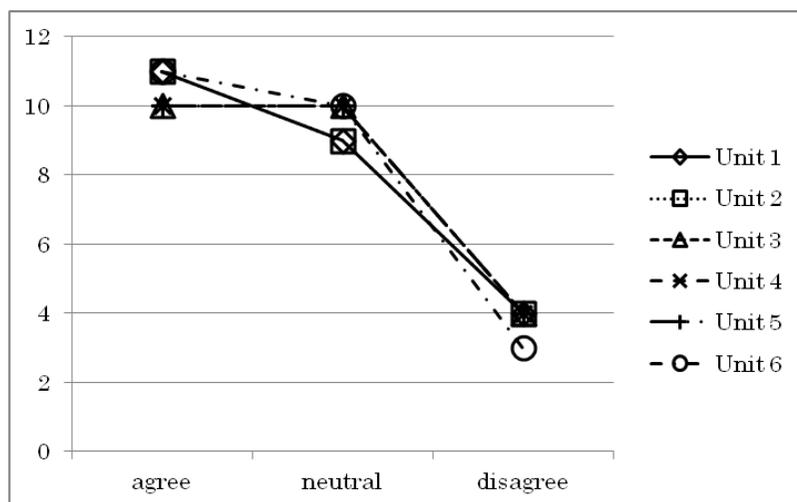


図 18 「聞き取り練習の効果」に対する賛否のユニット毎の比較

3.3.2.14 聞き取り練習の会話の速さについて

図 19 は、「ダイアログの会話の速さ」に関するグラフである。「会話の速さが、“fast”か、“adequate”か、“slow”か」を尋ねた結果のユニット毎の比較になっている。

会話スピードは、ほぼ **natural speed** で録音をされていて、学生はオンラインで自分の好きな時にアクセスし聞くことができる。クラスで全員で聴解練習することもあるが、前節で述べたようにクラスではあまり聞く時間が取れていない。そういった中で、今回の調査では、ユニット毎の違いが大きく出てきた。Unit 1、Unit 2、Unit 4 において、“adequate”の回答が比較的多く、Unit 3、Unit 5、Unit 6 において“adequate”の回答が少なくなった。Unit 1 が一番多くて 79.2%（24 名中 19 名）、Unit 6 が一番少なく 45.8%（24 名中 11 名）であった。これは、先の「単語の難しさ」の項でも述べたが、Unit 6 は『就活』を扱ったおり、出てくる言葉にも馴染みのないものが多く、日本人学生との日常会話でもあまり聞くことがないような会話がダイアログの中に現れていることが大きく影響しているものと考えられる。逆に、Unit 1 は毎日のように使っている SNS 関連のトピックであるがために言葉や話の内容に抵抗なく入っていけるからであろう。

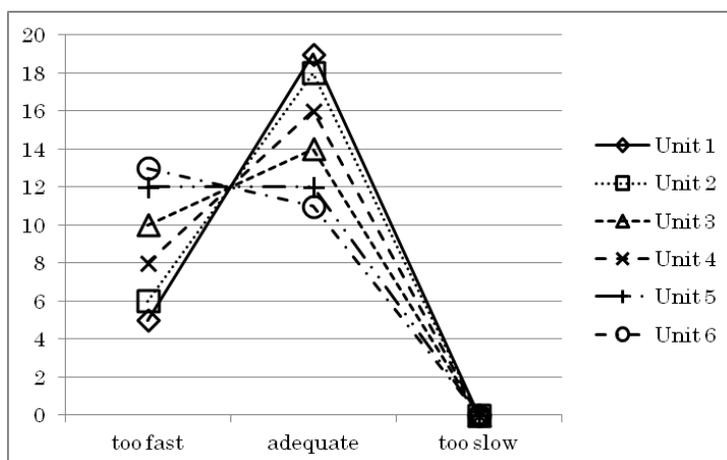


図 19 「聞き取り練習の会話の速さ」に対する評価のユニット毎の比較

3.4 結果のまとめ

以上のアンケート調査の結果をまとめると今回の大幅改訂の対象となった Unit 1 を含め JPN6 のモジュール型教材の学生による評価として以下のことが言えそうである。

- (1) 今回大幅な改訂の対象となった Unit 1 については、トピックを LINE から SNS

に変えたことで、前回の調査で見られたような関心度の低下は見られず、大きく評価を改善した。また、前回改訂された Unit 5 のトピックの「関西弁」については、今回の調査においても学生の間での関心が高く、これを教科書の中に入れたことは正解であったと言える。前回提案したようにもっと深く「関西弁」取り上げるコースの提供も検討できそうである。一定以上の需要が見込めると言える。

(2) 前回の報告で改訂を提案した Unit 2 に関しては、トピックの変更は行わなかったが時代遅れのものとなっていた語句の変更などのマイナーチェンジをしたおかげで学生間での関心の低下を防ぐことができたものと思われる。

(3) ダイアログの長さや難しさに関しては、過去の調査結果のような問題点は見られなかった。ダイアログとして、適切な長さ、難しさを持っていることを示す結果となった。

(4) 単語の数と難しさに関しては、毎回の調査で問題になってきたが、今回は、ユニット間での語彙の重複の調整や単語リスト上に「(今学期に)覚える必要のない単語」の印を入れるなどの工夫を行なったおかげで、単語に対する評価で改善が見られた。単語練習の量に関しては、教科書の問題ではなく授業計画を見直すことで、学生の評価の改善が図れるであろう。

(5) 表現の説明については、これまでと同様、高い満足度を維持していると言える。ただ、例文に関してはもう少し増やすことでさらに満足度を上げることができるかもしれない。

(6) 「聞き取り練習の効果」については、これまでの調査と同様に授業計画を見直し「授業で取り上げる機会を増やすことによって満足度を高めていく努力が必要である」(宮内 2016) と言える。

4. 今後の展望

今回のアンケートにおける「今後取り上げて欲しいトピック」の中には、「歴史」を挙げる学生が数名いた。これは、今回の調査だけでなく過去の調査でも見られた。今回の調査で、Unit 6 の「就活って何？」のトピックは、学生間の関心度・好感度の低さが見られたが、今後、学生の「就職活動」の様相も変化しそうなことを考えれば、次の改訂の対象をこのユニットにすべきであろう。そして、その代替りのトピックとして「歴史」を取り上げてよいかもしれない。学生の中には、日本がど

うして急速に近代化・西洋化したのかについて関心を持っている者が少なくない。実際、今回の調査でも、「取り上げて欲しいトピック」の回答として“Maybe Japanese history or how Japan became more westernised.”と書いてきている者もいた。

5. おわりに

2014年のUnit 1の改訂、2015年のUnit 6の改訂、2016年のUnit 4の改訂、2017年のUnit 5が改訂に引き続き、2018年に再度Unit 1が大幅に改訂されたことに合わせて、学生による教科書評価のアンケートを実施し、その結果を報告した。幾つかの改善点も見つかったが、過去4回の改訂の時と同様、全体的には学生の間の評価は高かった。

その最大の理由としては、これまでの報告（宮内 2015 他）でも述べたとおり、モジュール形式を取っていることにより、部分的な変更が容易に行えることが挙げられよう。そのおかげで学生のニーズだけでなく社会情勢の変化にも素早く適応できるわけである。これからも学生のニーズ調査を継続し、また、社会情勢の変化、技術革新などによる生活の変化などに合わせて必要な改定を行っていけば、時代遅れの話題に陥ることなく学生の中の高い満足度を維持することができるものと確信する。今後とも、こうした努力を継続していきたいと思う。

参考文献

- 岡崎敏雄（1989）『日本語教育の教材』アルク
- 高屋敷真人（2012）「モジュール型教材による中級後期日本語教科書開発プロジェクト」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』22号 pp.119-133.
- 高屋敷真人（2013）「モジュール型教材を利用した中級日本語会話練習—教室内と教室外の言語活動の統合に向けて—」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』23号 pp.131-146.
- 高屋敷真人、宮内俊慈（2015）「モジュール型教材による中級後期日本語教科書開発プロジェクト実践報告（2015）」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』25号 pp.55-68.
- 高屋敷真人、宮内俊慈（2016）「モジュール型教材による中級後期日本語教科書開発プロジェクト実践報告（2014～2017）」『関西外国語大学留学生別科 日本語教

育論集』26号

宮内俊慈 (2014) 「モジュール型中級後期教科書の学生による評価」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』24号 pp.49-69.

宮内俊慈 (2015) 「モジュール型中級後期教科書の学生による評価 (2)」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』25号 pp.25-54.

宮内俊慈 (2016) 「モジュール型中級後期教科書の学生による評価 (3)」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』26号 pp.41-62.

宮内俊慈 (2017) 「モジュール型中級後期教科書の学生による評価 (4)」『関西外国語大学留学生別科 日本語教育論集』27号 pp.59-91.

(smiyauc@kansaigaidai.ac.jp)



JPN6 教科書アンケート

Date

Sex

Male

Female

Please rate the following aspects of JPN6 packets.

(1) 教科書全体

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
The packets of JPN6 are good as a whole.	<input type="radio"/>				

(2) トピックは面白いと思う(The topic is interesting.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「どんなSNS、使ってるの?」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫?主人?」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当?」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか?」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何?」	<input type="radio"/>				

(3) ダイアログの内容(ないよう)はいいと思う(The content of the dialogue is interesting.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「どんなSNS、使ってるの？」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫？主人？」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当？」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか？」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>				

(4) ダイアログの長さは？(The length of the dialogue is:)

	Too long	Somewhat long	Adequate	Somewhat short	Too short
Unit1 「どんなSNS、使ってるの？」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫？主人？」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当？」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか？」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>				

(5) ダイアログの難しさは？(The difficulty of the dialogue is;)

	Too difficult	Somewhat difficult	Adequate	Somewhat easy	Too easy
Unit1 「どんなSNS、使ってるの？」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫？主人？」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当？」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか？」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>				

(6) 単語の数は？(The number of the vocabulary is ;)

	Too many	Somewhat too many	Adequate	Somewhat too few	Too few
Unit1 「どんなSNS、使ってるの？」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫？主人？」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当？」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか？」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>				

(7) 単語の難しさは？(The difficulty of the vocabulary is ;)

	Too difficult	Somewhat difficult	Adequate	Somewhat easy	Too easy
Unit1 「どんなSNS、使ってるの？」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫？主人？」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当？」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか？」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>				

(8) 単語練習の量は？(The amount of the “vocabulary practice” is ;)

	Too much	Somewhat too much	Adequate	Somewhat too little	Too little
Unit1 「どんなSNS、使ってるの？」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫？主人？」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当？」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか？」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>				

(9) 単語練習の内容はいいと思う。(The content of the “vocabulary practice” is nice.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「どんなSNS、使ってるの？」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫？主人？」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当？」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか？」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>				

(10) 表現の説明は、満足できる。(The explanation of expressions is satisfactory.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「どんなSNS、使ってるの？」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫？主人？」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当？」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか？」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>				

(11) 表現説明の例文の量は? (The amount of example sentences in the explanation is :)

	Too much	Somewhat too much	Adequate	Somewhat too little	Too little
Unit1 「どんなSNS、使ってるの?」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫?主人?」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当?」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか?」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何?」	<input type="radio"/>				

(12) 表現練習の量は? (The amount of the “expression practice” is :)

	Too much	Somewhat too much	Adequate	Somewhat too little	Too little
Unit1 「どんなSNS、使ってるの?」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫?主人?」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当?」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか?」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何?」	<input type="radio"/>				

(13) 表現練習の内容はいいと思う。(The content of the “expression practice” is appropriate.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「どんなSNS、使ってるの？」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫？主人？」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当？」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか？」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>				

(14) 聞き取り練習は効果があると思う。(The listening practice is effective.)

	Strongly Disagree	Disagree	Neutral	Agree	Strongly Agree
Unit1 「どんなSNS、使ってるの？」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫？主人？」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当？」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか？」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何？」	<input type="radio"/>				

(15) 聞き取り練習の会話の速さは? (The recording speed of the listening practice is :)

	Too fast	Somewhat too fast	Adequate	Somewhat too slow	Too slow
Unit1 「どんなSNS、使ってるの?」	<input type="radio"/>				
Unit2 「交通機関のマナー」	<input type="radio"/>				
Unit3 「夫?主人?」	<input type="radio"/>				
Unit4 「和食ブームって、本当?」	<input type="radio"/>				
Unit5 「関西は好きですか?」	<input type="radio"/>				
Unit6 「就活って何?」	<input type="radio"/>				

(16) 今後取り上げて欲しいトピックがあれば、教えてください。
(Tell us what kind of topic we should take on the JPN6 packets in the future.)

(17) フリーコメント(JPN6のPacketに関してどんな意見でもあれば言ってください)
(Write any comments about the JPN6 packets, freely.)